

いのち・くらし・へいわ

水田 豊

活動レポート

府中市上下町深江
940-1

TEL 62-4575

FAX 62-4404

発行元
水田豊後援会

3月議会での一般質問



3月議会を終えて

ごみの有料化が決定しました。結果は12対11の1票差での可決です。一般市民に対する説明会も一度もないままの決定でした。上下出身の議員が全員反対していれば今議会での決定は見送れたはずですが。大変残念な結果となりました。

3月議会は注目をあびたごみ有料化のほか、07(H19)年度予算も決定をされました。

議会後には、上下支所も竣工、4月2日には開所式が行われました。

私は、ごみの有料化、上下支所の変更に関する条例に反対討論をおこない、07(H19)年度

予算に反対いたしました。

上下町が府中市と合併して丸3年が経過し、合併協議による建設計画も上下支所の建設等一段落しました。

今後、上下町は名実ともに府中市の一員として歩んで行く事になります。その予算は厳しく、上下町の課題もいやおうなく府中市全体の中での必要性を問われることとなります。上下町出身の議員として身を引き締めて今後の活動を続けたいと思っております。

みなさまの叱咤、ご指導をこれまで以上によろしくお願いします。



3 月市議会厚生委員会でのやり取り

水田 多くの市では、有料化と分別化を同時に導入してごみ減量の効果をあげている。今回の府中市のようにあとから有料化だけおこなってごみが減るのか疑問だ。

市長 他市の分類数からいって（府中市の現状は）決してきめ細かい部類ではない。有料化をして、包装簡素化協議会を立ち上げそして追ってさらに分類をもっと緻密にし、さらに資源化も増やす。そういうふうに段階的に進んで行くわけです。その出発点として有料化をやるわけです。

水田 まず、有料化して、その後に減量策を考えるのではなく、今の段階で有料化と同時にこのくらいのことはしてもらいます。あらたな分類を細かくしてもらいます。というのがありべき減量化政策であろう。

市長 市民にお願いできるのは、やはり段階を追ってやらなければならないと考えております。今まで無料の中でこれだけ分類にご協力をいただいたわけです。これから有料化もお願いをして行かなければいけないわけですから、そして、有料化が一定、定着をして、皆さんもいろいろ意識が広がるそういう中でですね、さらに細かい分類や細かい資源化、さらに資源化するものの処理の仕方、コストの問題なども整理しなきゃならないわけでございますんで、段階を追ってやっていくのが現実的です。全部そろって全部やれといわれてですね、それは市民はですね、ついてこられるかどうか私は疑問だと思います。ですからそういった意味で、今一定の分類で成果をあげているわけでございますから、これをまずは保持し、そして有料化によってさらに意識を喚起して、そしてそういった意識が高まったところで、次の分類などのですね、さらに減量の政策をどうしていくと、これがですね、らしい政策の進め方の順序だというふうに思っております。

水田 私はその逆が正しいのではないかと思う。まず、10月から細かい分類を始めて、それで減量の効果があがれば、有料化は必要ない。まず、減量化の具体策を実施し、その後に有料化を提案しても遅くない。市長のいう順序は逆ではないか。

市長 現在の無料の中で行っている分類というものは市民全体の協力をいただいているがもう限界だと感じている。ですからさらにレベルを上げるためには、まず啓発を、さらに言葉だけの啓発ではない有料化による啓発というものをまず浸透させて、それからさらに進んだ分類、資源化というものを導入するのが、でき得る唯一の順番だというのが実感でございます。

水田 さらに細かい分類をするのは限界だと言っていたらいつまでたってもできやしない。私の実感からすれば、有料化をさけるために（細かい分類を）まずやってくれと言えば市民は喜んで協力すると思いますよ。市長の感覚のほうが私にはわかりませんね。

市長 理想論だけでは現実には動かない。人々の自制心や規律やそういったものにだけ期待して進めることは難しい。有料化という啓発を通じて行うことが唯一のやり方だ。

水田 まず、有料化をやって、その後にさらに細かい分類をしてくれという風な頼み方をすれば市民感情としては、「有料化した上にさらにまだ協力せえと言うのか」となると思います。私は逆だと思います。まず、分別をやってくれ、その後に有料化というのが順序だ。

市長 今現在でも分別はですね、平成14年に導入し、大変な努力をして今日があるわけです。要するに我々の足がかり、出発点として今日の有料化の話があるわけです。なにもしなくていきなり有料化しているわけではありません。もうすでに相当の努力を市民にお願いしているわけです。その上に立脚して新しい有料化政策を導入するわけです。ですからさらに進んだものというのはですね、要するに市民の意識が高まればそういった反発を感じないでやってもらえるふうにするということですから、やったら反発される、というのであればもともとなにもできやしない。有料化しつつ、新聞を発行したり、いろんな啓発をしたり、さらに細かい分類をしようということも多く市民に理解してもらってやるということですから、やったら反発される、やったら反発されるとそういうことではない。そういったことを乗り越えてやってゆくことによって減量化ができるわけです。今でも相当の分類をできているわけですから、これをさらに進めるには、やっぱりこういう順序でやっていくのが正しいやり方と私は思っております。

コメント

まず、「有料化ありき」の市長の姿勢がはっきり答弁にあらわれています。

水田豊 活動日誌

1月9日	にぎわい創出ネットワーク	上下町商工会館
1月10日	連合府中地区協議会	末広殿
1月14日	上深江地区とんど	上下町上深江
1月19日	上下町商工会懇親会	ホテル「オームラ」
1月27日	身障協上下支部新年会	上下町民会館
1月29日	核実験反対すわりこみ	市役所
1月30日	議員研修会	福山ニューキャッスル
2月2日	ごみ視察 福山市	福山リサイクル発電所
2/ 15-16	社会クラブ行政視察	高知県土佐山田市
2月18日	第44回上下町民卓球大会	上下中学校
2月19日	厚生委員会	市役所
2月22日	午前 議員全員協議会	市役所
2月22日	午後 府中市国保運営協議会	市役所
2月23日	平和の夕べ テーマ 日中友好	上下キリスト教会
2月24日	ごみ乾燥機視察 廿日市市	カルビー広島西工場
2月25日	上深江地区総会	久呂神社(上下町上深江)
2月26日	議会制度検討委員会総会	市役所
3月4日	商店街ひなまつり	上下町商店街
3月10日	上下中学校卒業証書授与式	上下中学校
3月19日	郷山中公園桜の植樹	中山公園(上下町)
4月2日	上下支所開所式	上下支所

上下支所を部から課にする条例に反対討論をおこないました。

上下支所の位置づけが部から課へ降格になりません。上下支所での業務が内容的にはかわらないと答弁をいただいておりますが、物理的に人数も減っていますし、責任者も減る。ただでさえ、上下町民は合併後の行く末に不安をいだいています。支所の縮小はこの不安に拍車をかける出来事でございますので反対をいたします。

上下支所の設置場所に関し反対討論をおこないました。

上下支所建設につきましては、みなさまもご存知の通り、その建設場所

において、上下町民の間に議論があったところをごさいます。そのことを反映して昨年3月の議会には陳情書が提出されています。

手続き的には決まったことであり、また現に建っていることを承知してはいますが、現支所の建設場所については有力な反対意見があった。またそのことが現在にも影響を与えているということに注意を向けていただくためにもあえて反対をいたすところでございます。

府中北市民病院健全化計画要約版 抜粋

1、平成22年度までの推進計画

2、各年度における達成目標の設定

主な項目
診療科目：地域ニーズに適応する体制の抜本的見直し
病床数：需要見合い（稼働率）による削減も視野においた病床数の調整
医師体制：診療科目の再編に伴う適正な配置
療養病床：地域ニーズ、広域的受け皿に対応可能な体制と形態（介護型療養病床から医療機関併設型小規模介護老人保健施設への再編を想定）
委託業務：コストの削減

平成19年度

病床利用率上昇対策（95%目標）

地域連携の強化

医師配置1名削減

療養病床の割合変更（医療30：介護20から医療20：介護30）

一般病床の縮小（60床から55床）

地域医療計画の策定

平成20年度

一般病床の縮小（55床から50床）

療養病床（医療20：介護30）

オーダリングシステム導入

地域医療計画の策定

平成21年度・平成22年度

一般病床の縮小（50床以内）

診療科目の縮小（9科から8科）

看護基準の変更（13：1から10：1）

療養病床（介護30）の廃止 老人保健施設の開設（28床）

通所リハビリテーションの開設（20人）

オーダリングシステム稼働

療養病床（医療20）

水田豊の読書日誌

現代人の論語

呉智英

森岡ママは今日も笑顔で丘の上

森岡まさ子

官のシステム

大森彌

ジャズ・カントリー

ナット・ヘントフ

日本はなぜここまで壊れたのか

マークス寿子

わかつたつもり

西林克彦

戦後政治の崩壊

山口二郎

編集後記

市議会での議論が活発にならない理由の一つに「何でも賛成与党会派」の存在があります。平成クラブ会長の平田議員（阿字町）は、議案質疑で次のように発言しました。「聞きたくない方は眠っていただいて結構でありますし、議長のお許しをいただいで出て行っても結構であります。」私は耳を疑いました。議会は議論の場であって、講演会の会場ではありません。平成クラブが過半数を握っているので議論は無用だと言っているに等しい。このような認識の持ち主が府中市議会の最大会派の会長であり、議論無用の議会になっている理由です。